

## 第 18 回 全国高等専門学校デザインコンペティション 2021 in 呉 “Restart”

## 創造デザイン部門 募集要項

[テーマ:再出発！-持続可能な再興を目指して-]

【課題概要】2020年より世界中に広まった新型コロナウイルス感染症の影響により、大都市はもちろんのこと地方に至っても経済的に大きな打撃を受けている。その中で、「デジタル化」に向けた取り組みは急速に広がり、企業においてはテレワーク・リモートワークの導入、高専・大学においてはオンライン授業の導入など、我々の生活にも様々な変化をもたらしている。新型コロナウイルスは、人の移動にも影響を与え、地方移住への関心が高まっている。また外出自粛により、自宅やその周辺地域にいる機会が増え、地域の魅力を再認識・再発見する機会にもなっている。開催地の呉市は、戦前に日本一の海軍工廠を有するまちとして発展した。終戦による海軍の解体後も、積極的に旧軍用財産の転活用を図り鉄鋼・造船業を中心に大きく成長してきた。戦時中、戦艦「大和」が建造された海軍工廠跡地に建設された製鉄所は2023年9月を目処に全面閉鎖されることが決定し、また2018年夏に西日本豪雨災害で大きな被害を受けたばかりの呉市において、持続可能な新産業の創出が求められている。そのためには、工場跡地を含め、地域の資源を有効に活用するだけでなく、これからの未来につながる地方再興が必要となる。

本部門では、SDGsに配慮した持続可能な地方再興につながる「こと」や「もの」の提案を求める。具体的な地域を想定し、その中で今必要とされる新しいサービスを考えてほしい。観光・伝統文化・工芸など地方に眠っている資源・魅力を再興し、既存の制度や慣習にとらわれない提案を期待する。

## \* 審査委員長からのコメント 「再出発！-持続可能な再興を目指して-」に寄せて \* \* \* \* \*

持続可能な再興というテーマから考えると、再興が指し示す意味の中には、ふたたび興す前には繁栄していた状況があったかのようなニュアンスが含まれているように思う。

一つ前の繁栄を想起させる事象を思い起こしてみると、戦後の高度経済成長期には人口が増え経済が発展していくというわかりやすい幻想としての繁栄があったように考えられる。一方で、コインの裏表のように過疎や公害などの問題を露呈してきたのではないだろうか。もう一つ前に遡ったとしても、戦前から農村では青年たちが打ち集まって、我が村の振興のあり方を夜な夜な考えていた状況にあった。

つまり、いつの世も安定して繁栄してはおらず、つねに課題や問題に向き合い、携えながら、その時々でどうすべきなのか？を考えてきた歴史の蓄積でしかないように思う。

全国各地を歩いた民俗学者、宮本常一氏は言っている。「まず、じぶんたちでじぶんたちの社会をつくってみること」をしてみなさいと。

さらに、旅することに準えて、氏はこんなことも言っている。「旅とは旅する者が主体的に風土とひとつのかかわりのなかで、新たなものを発見すること」だと。

上述の点も踏まえて、それぞれの高専生が何を課題として設定し、それらへの回答として何をどう考えるのかに真摯に向き合ってもらいたいと思う。

これだと決められた答えはどこにも存在しておらず、真摯に向き合った結果が、すべて答えだとも考えられるからだ。また、SDGsとは誤解を畏れずに表現すれば、この地球上に人類が居続けるためには何が考えられるのかということなので、そんなこともアタマの片隅に置いて。

高専生の多くの提案に出会えることを期待している。

## 1. 提案条件

① 持続可能な<sup>\*1</sup> 社会や地域創生につながる「創造性<sup>\*2</sup> のあるサービス(こと)」の「プロセスデザイン(どのようなストーリーで地域の人々を支援するか)」を提案すること。「創造性のある製品(もの)」を提案する場合には、その「製品(もの)」がどのような仕掛けで地域振興に関与していくのかという「プロセスデザイン(ストーリー)」も併せて提案すること。特に、創造デザイン部門では、「こと」興しを重視していることから、「こと」興しの仕掛けのみに特化する「プロセスデザイン」も含まれる。「もの」のみの提案は不可とする。

<sup>\*1</sup> 持続可能とは、SDG's(持続可能な開発目標)などの国際的な取組みがあるので参考にするように。

<sup>\*2</sup> 創造性とは多様な人々による様々な視点からアイデアを何度も再構築することにより生まれたものを示す。

② 地域(人、企業・自治体・NPO・住民組織等)が抱えている課題を解決するための「こと」を興すプロセスを提案すること。地域課題を捉えるには、“現場の情報に当たる”必要があるが、その方法としては、まず仮説を立て、その仮説を検証するためのフィールドワーク(観察)、インタビュー調査、データの分析<sup>\*3</sup>などが考えられる。しかし、必ず当事者(問題を抱えている人)の声を直接聞き、そして、共感(empathy)して問題の本質を探り当てる様に心がける。

<sup>\*3</sup> RESAS 地域経済分析システム(<https://resas.go.jp/>)も有ります。

③ プロセスデザインは、人(当事者)のニーズから出発し、目標とする地域像を実現するためのプロセスを提案するものである。そのプロセスの中には、地域資源や既存技術・実現可能と思われる技術・知識をどう融合させるか、地域内外の人々がどうコミュニケーションするか、といった内容が含まれる。本課題では、こうしたプロセスに高専がいかに関わるか、その役割を示すことが求められる。

## 2. 評価指標

提案は、次の五つの視点(地域性, 自立性, 創造性, 影響力, 実現・持続可能性)から評価する。したがって、以下の①～⑤の内容を含むように留意すること。

① 地域性(地域の事情を踏まえた施策であること)

客観的なデータにより各地域の事情や将来性を十分に踏まえた持続可能な提案であること。

② 自立性(自立を支援する施策であること)

地域・企業・個人の自立に資するもの、「ひと」「しごと」の移転・創造を含み、特に外部人材の活用も含め「ひと」づくりにつながる提案であること。

③ 創造性(多様な人々により熟考されていること)

創造性を意識した提案であること。創造性は、多様な人々によるさまざまな視点からアイデアを何度も再構築することにより生まれるといわれている。創生事業は、一つの分野だけで解決できるものではない。そこに関係するさまざまな人々を巻き込んで生まれた創造性のあるアイデアを提案すること。

④ 影響力(課題解決に対する影響力)

本テーマに応募する原動力となった課題に対して、提案したアイデアがいかにパワフルで影響力がありそうかを評価する。一過性のものでなく、深く・強いアイデアを期待する。

⑤ 実現・持続可能性(10年後までの実現可能性、持続可能性が1%でも見いだせればよい)

万人が納得できる論理的根拠に基づく提案であること。

### 3. 競技方法

創造デザイン部門は、予選と本選に分けて実施する。

#### (1) 予選

審査員は、プレゼンテーションポスター(画像データ)に基づく審査の結果から本選に出場する 10 点以内を選出する。審査結果は、デザコン 2021 in 呉公式ホームページ(<https://デザコン.com>)に公開するほか、応募された 各高専の学生課宛てに e-mail で連絡する。審査結果は、10 月末頃に公開予定である。

#### (2) 本選

本選は、予選結果連絡時のフィードバックコメントをもとにブラッシュアップしたアイデアのプレゼンテーションを行う。詳細は、10 月中旬にデザコン 2021in 呉公式ホームページにて公開される本選出場要項に従って行い、審査員の評価により賞を決定する。

### 4. 応募方法等

Web による手続きとする。Web による手続きを利用するためには、google のアカウントが必要となる。なお、創造デザイン部門では、プレゼンテーションポスターの画像データファイルのアップロード(Web)に加えて、パネル化したプレゼンテーションポスターの郵送あるいは持参による提出を求める。

#### (1) 質疑応答

募集要項の内容(課題内容、提案条件)に関する質疑応答は行わない。ただし、日程および提出方法などの事務的な質疑については、下記の期間・方法にて受け付ける。

- ① 受付期間：2021 年 4 月 30 日(金)～2021 年 5 月 31 日(月) 17:00
- ② 質問方法: 下記「質疑フォームサイト」にアクセスして質問フォームを取得し、フォームに必要事項と質問を記入し下記事務局にメール添付で送信する。

● 質疑フォームサイト

<https://www.kure-nct.ac.jp/department/a/GakkaHP/shitsumon.html>



呉工業高等専門学校 創造デザイン部門事務局 e-mail : [dc21-sozo@kure-nct.ac.jp](mailto:dc21-sozo@kure-nct.ac.jp)

- ③ 回答公開：6 月上旬に、デザコン 2021 in 呉公式ホームページ(<https://デザコン.com>)にて、回答の内容を公開する。

#### (2) 予選エントリー時の提出物

- ① プレゼンテーションポスターの画像データ[予選エントリーフォーム(Web)アップロード用]
  - ・ 画像データのファイル形式は、PDF(.pdf)あるいは JPEG(.jpg)とすること。
  - ・ アップロード可能なファイルサイズの上限は 300MB だが、文字が読める範囲でできるだけ小さくすること。
  - ・ ファイル名は、[高専名・キャンパス名\_代表者学生氏名](「高専」「キャンパス」の文字は除く。)とする。例)呉\_呉太郎.pdf

**(3) 予選エントリー手続き**

- ① 受付期間：2021年9月24日(金)～2021年9月30日(木) 17:00
- ② 応募方法：デザコン2021 in 呉公式ホームページ創造デザイン部門「エントリー」から必要事項を入力するとともに、プレゼンテーションポスターの[画像データファイル]をアップロードすること。なお、予選エントリーフォームで入力する「提案概要」の内容は、審査に影響しない。
- ③ 受領確認：プレゼンテーションポスター(画像データ)の受領確認については、2021年10月8日(金)までに、デザイン事務局から各高専の学生課宛にe-mailで連絡する。また、デザコン2021 in 呉公式ホームページ上にエントリーリストを公開する。万が一、エントリー漏れがあった場合には、後に示す期日までに指導教員が下記メールアドレス宛に連絡すること。

呉工業高等専門学校 創造デザイン部門事務局 e-mail: [dc21-sozo@kure-nct.ac.jp](mailto:dc21-sozo@kure-nct.ac.jp)

**(4) 本選への参加**

本選は2021年12月4日(土)に実施する。本選の詳細「本選出場要項」に関しては、10月中旬にデザコン2021 in 呉公式ホームページにて公開するとともに、予選通過者の指導教員にe-mailで通知する。

**(5) 参加費**

- ・ 予選審査費は1作品につき2,000円とし、本選参加者は1名あたり1,800円とする。
- ・ 予選審査費は、2021年10月8日(金)までに以下の口座に振り込むこと。
- ・ 本選参加費は、2021年11月5日(金)までに以下の口座に振り込むこと。
- ・ 振り込み者名は、「高専名の略称、空白、担当者名」とすること。  
例) クレ コウセンタロウ
- ・ 振り込まれた予選審査費および本選参加費は、いかなる場合も返金いたしかねますのでご了承ください。

**【振込口座】**

銀行名: 呉信用金庫  
支店名: 阿賀支店(店番: 010)  
口座種別: 普通預金  
口座番号: 1051994  
口座名義: 全国高等専門学校デザインコンペティション 学生課長 篠原 益夫  
ゼンコクコウトウセンモンガッコウデザインコンペティション  
ガクセイカチョウ シノハラマスオ

**5. 応募資格**

- (1) 高等専門学校に在籍する本科生及び専攻科生とする。
- (2) チームは、2～4名で構成する。複数の高専との連合も可とする。
- (3) チームメンバーの所属する学科や専攻は問わない。
- (4) 同一人物が他部門も含め複数のチームに参加することは認めない。

(5) 同一人物の予選へのエントリー制限について：

デザコン 2021 in 呉では、空間デザイン部門・創造デザイン部門・AM デザイン部門の 3 部門のうち 1 部門にしか応募することはできない。ただし、この 3 部門で予選通過できなかった場合には、構造デザイン部門への応募を可とする。

## 6. 審査員および審査方法

審査方法は、予選、本選ともに審査員の協議によるものとする。

委員長：西山 佳孝(株式会社タウンキッチン 取締役)

委員：西側 赳史(株式会社 Encounter Japan 代表取締役)

委員：印南 百合子(鹿児島県男女共同参画局 局長)

ワークショップ・ファシリテーター：田坂 逸朗(予定)

## 7. 表彰

- (1) 最優秀賞(文部科学大臣賞)(予定) 1 点
- (2) 優秀賞 2 点
- (3) 審査員特別賞 2 点
- (4) クボタ賞(企業賞) 1 点

## 8. 著作権等

提出作品の著作権はそれぞれの製作者に属するが、主催者はこれを書籍等の印刷物への掲載また Web 等で公開する権利を有し、これを妨げないものとする。オフィシャルブックには応募作品とともに参加者、指導教員の氏名が記載される。また、肖像権の取り扱いについては、参加者からの申し出がない場合、肖像権の使用に同意を得たものとする。なお、予選に提出された応募作品についても公開を予定している。

## 9. 付記

- (1) 応募作品には他のコンテスト、コンペティションに応募したものを使用してはならない。
- (2) 応募要項に違反した場合は失格となる場合がある。
- (3) 応募作品は返却しない。
- (4) 応募作品の取り扱いにおいて、主催者は最善の注意を払うが、天災等の不可抗力による損傷に関しては、責任を負いかねる。
- (5) プレゼンテーション資料の作成にあたっては、全国高等専門学校デザインコンペティションの主旨に則った適切な表現を用いること。